ボーリング柱状図

調　査　名　平成29年度 弘前霊園地質調査業務

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	No.1	調査位置	青森県弘前市大字小沢 地内					北緯	
発注機関	弘前市			調査期間	平成 29年 4月 11日 ～ 29年 4月 12日			東経	
調査業者名	株式会社 弘明技術 電話（0172-34-0785）	主任技師	葛原 真吾	現場代理人	葛原 真吾	コア鑑定者	佐藤 雅樹	ボーリング責任者	佐藤 雅樹
孔口標高	H=9.886m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90°	使用機種	
総掘進長	5.50m								

試錐機	東邦製D0-C型	ハンマー落下用具	半自動式
エンジン	ヤンマー製NFD-10型	ポンプ	東邦製BG-3B型

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	9.14	0.75	0.75		盛土(火山灰質粘土)	褐			火山灰質粘土からなる盛土。 上部10cmは黒灰色のシルト。 全体的に不均質。
1									
2	7.24	1.90	2.65		盛土(粘土質シルト)	黒褐～暗灰		軟らかい	粘土質シルトからなる盛土。 φ5～30㎜程の砕石が点在する。 2.0～2.65m間、含水高く軟弱。
3									
4	5.59	1.65	4.30		有機質シルト	黒褐		中位の～非常に軟らかい	部分的に微細砂が混在し不均一。 2.7m付近に木片が点在する。 4.0m付近まで含水低位だが、以深、高含水で軟弱。
5	4.79	0.80	5.10		シルト質砂	黄灰			砂粒子は細砂主体で火山灰質。 全体に細粒分が混在する。 含水は中位。
	4.39	0.40	5.50		火山灰質粘土	褐		中位の	全体的にローム質。 部分的に若干の砂分が混在する。 粘性強い。
6									
7					火山灰質粘土（推定）				
8									推定
9									
10	-0.61	5.00	10.50						

孔内水位(m)／測定月日：4/11 4.15

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値
1.15	1	1	1	3／30	3
1.45					
2.15	1／20	1		2／30	2
2.45					
3.15	1	2	2	5／30	5
3.45					
4.15	1／35			1／35	1
4.50					
5.15	1	2	2	5／30	5
5.45					

原位置試験

深度 (m)	試験名および結果

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（　）	掘進月日
				4/11